

令和6年 第4回 青田まわり資料(山田錦)

令和6年7月26日
なんと農業協同組合
砺波農林振興センター

水稻の生育状況

5月初旬植えの幼穂形成期は7月21日頃と平年より5日程度早くなっています。また、平年より草丈が長く、茎数が多いなど、生育量が目標より大きくなっています。

くなんと担い手組織協議会 移植 事務局調査>

調査日：7月23日

年次	田植日	草丈 (cm)	茎数		葉 齢	葉 色	幼穂 形成期	出穂期
			(本/株)	(本/m ²)				
R 6	5/4	96.5	30.8	504	14.8	4.3	7/21	(8/11)
R 5	5/4	89.5	25.9	461	14.1	4.0	7/20	8/10
平年	5/11	86.5	22.3	400	13.5	4.0	7/26	8/17



当面の管理のポイント

調査データを掲載しています（JAなんとホームページ）⇒

1 穂肥

- ・生育量が大きく、倒伏や過剰着粒が懸念されるため、慎重に施用しましょう。
- ・幼穂形成期 移植：7月21日頃（5月4日植え）、直播：7月31日～8月10日頃
- ・肥料名 追肥3号

生育 区分	幼穂形成期（幼穂長2mm）の生育				草丈 （幼穂長 15mm時）	1回目穂肥		2回目穂肥	
	稲の姿	草丈	葉色	株当り 茎数 60株植		時期	10a 当り 施用量	時期	10a 当り 施用量
適正	・葉が立つ ・らち間がすっきり見える	80cm 以下	3.8 以下	20本 以下	85cm 以下	幼穂長15mm頃 ※幼穂形成期 から約7日後	10kg	1回目の 7日後	10 ～12kg
やや 過剰	・葉がやや メラつく	81～ 89cm	3.9～ 4.2	21～ 23本	86～ 94cm	幼穂長20mm頃 ※幼穂形成期 から約9日後	7kg	1回目の 7日後	10 ～12kg
過剰	・葉がメラつく ・らち間が見えない	90cm 以上	4.3 以上	24本 以上	95cm 以上	施用しない		幼穂長10cm頃 ※幼穂形成期 から約14日後	0～12kg ※生育に応 じて減肥

直播栽培：移植に準じますが、2回目穂肥は、10kg/10a以内としましょう。

2 本田防除 ～移植は生育が早いため、遅れずに～

- ・稲こうじ病の防除（1回目）はヘリ防除でも実施しましょう。
- ・粒剤は湛水状態で散布しましょう（散布後7日間は湛水状態を保ち、落水やかかけ流しをしない）。

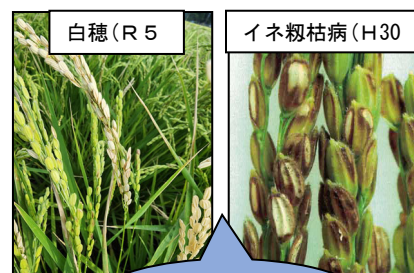
体系	1回目 （幼穂形成期の10日後）	2回目	3回目
粉剤・ 粒剤	Zボルドー粉剤DL 4kg/10a または トライフロアブル 1,000倍液、150ℓ/10a [無人航空機] 8倍液、0.8ℓ/10a	フジワンラップ粒剤 3kg/10a （出穂10日前）	—
液剤		ラフサイドスターフルフロアブル（出穂直前） 500倍液、150ℓ/10a [無人航空機] 4倍液、0.8ℓ/10a	キラップフロアブル（穂揃期） 1,000倍液、150ℓ/10a [無人航空機] 16倍液、0.8ℓ/10a

3 水管理 ～ほ場の干しすぎに注意!!特に出穂期前後～

- ・出穂期までは「飽水管理」を行いましょう。（常に土が湿った状態を維持し、足跡に水が残る程度になったら入水する）
- ・出穂後20日間は湛水状態を保ちましょう。
- ・フェーン時は入水しましょう。

4 漏生稲等の除去

- ・他品種やらち間・株間の稲は抜き取りましょう。



出穂期前後のフェーン、台風で発生